

2022 東海シンポジウム会告

主題＝カーボンニュートラルに貢献するポリマー研究

カーボンニュートラルを追求する取り組みが喫緊の課題であり、高分子の分野においてもマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルに加え、CO₂ 利用やバイオマス原料利用等、幅広い取り組みがなされてきています。今回のシンポジウムは、「カーボンニュートラルに貢献するポリマー研究」と題し、本分野の第一線で活躍されている先生方に講演をお願いしました。非常に充実した内容となっており、また、オンラインでの開催となりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

主催 高分子学会東海支部

協賛 日本化学会東海支部 東海化学工業会 有機合成化学協会東海支部 繊維学会東海支部 日本接着学会中部支部 日本分析学会中部支部 色材協会中部支部 化学工学会東海支部 プラスチック成形加工学会 日本レオロジー学会 日本繊維機械学会東海支部 日本油化学会東海支部 日本顕微鏡学会関西支部 応用物理学会東海支部

日時 2023年1月19日（木）、1月20日（金）

会場 オンライン

1日目 1月19日（木）

<10:00-12:10>

はじめに （東レ）小林定之

- 1) 地球におけるカーボンニュートラルと我が国の戦略（早稲田大）関根 泰
- 2) 生分解性バイオマスプラスチックの高性能化と展望（東京大）岩田忠久

<13:25-15:25>

- 3) 高分子膜でDACは可能か「超高CO₂透過膜での挑戦」（東京都立大）川上浩良
- 4) 二酸化炭素回収貯留技術と高分子膜を用いたCO₂分離技術（東京農工大）兼橋真二

<15:40-16:40>

- 5) ソフト多孔性配位高分子による吸着分離技術の開発（京都大）平出翔太郎

2日目 1月20日（金）

<10:00-12:00>

- 6) カーボンニュートラルに向けたCO₂フリー水素利活用拡大と今後の展開（東京工業大）岡崎健
- 7) 高圧水素タンク構成材料としての高分子材料に対する期待（トヨタ自動車）高見昌宜

<13:25-15:25>

- 8) データ駆動型化学が導く高分子材料開発におけるパラダイム変革
～何を作るか、それをどう作るか～（奈良先端科学技術大学院大）船津公人

- 9) 触媒インフォマティクスによる触媒開発と最前線（北海道大）高橋 啓

<15:40-16:40>

- 10) バイオマス由来のブタジエンゴムタイヤ製造に向けた触媒プロセス開発（産総研）藤谷忠博

参加要領

- 1) 定員 100名
- 2) 参加費 ① 企業 10,000円 ② 大学・官公庁 5,000円 ③ 学生 無料
- 3) 申込方法 以下の URL からお申込みください。

<https://forms.gle/ZgDgtWTc8EjTpRVa9>

参加費は銀行振込

【三井住友銀行名古屋支店 普通預金口座 5557774 高分子学会東海支部】

にてお支払いください。

※参加登録のキャンセルは、1月10日（火）までに高分子学会東海支部までメールにてご連絡ください。納入していただきました参加費を返金させていただきます。

なお、キャンセル期限後のキャンセルは、お受けできませんのでご了承ください。

- 4) 申込締切 1月11日（水）
- 5) 振込期限 1月11日（水）

お問い合わせ先

〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル

（公財）中部科学技術センター内 高分子学会東海支部

東海シンポジウム係宛

TEL：052-231-3070 FAX：052-204-1469

E-mail：koubunshi☆cstc.or.jp

（☆を@にかえてご利用ください）